

事務事業名		市営住宅管理事業			☐ 実施計画掲載事業 ☐ 合併建設計画掲載事業																									
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造			事業期間																									
	施策名	良好な生活空間の創造																												
	基本事業名	安全・快適な住宅づくりの推進			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和29 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																									
	根拠法令	民法、借地借家法、市営住宅条例、浄化槽法、消防法																												
所 属	部課名	住宅公園課			予算科目 会計 款 項 目 事業 01 08 06 02 05																									
	課長名	千葉 洋一																												
	係 名	住宅管理係	電話	0192-27-3111																										
	担当者	佐々木 晋一	内線	327																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市営住宅入居者の要望などによる修繕とは別に、市営住宅等にかかる消防設備、浄化槽点検、火災共済加入等の日常の維持管理を行う。 偶発的なものとして、シロアリ駆除、支障木伐採等がある。 主な業務は、消防設備、浄化槽等にかかる管理委託等、火災共済加入事務。 事業費は、検査手数料、建物共済手数料、維持管理委託費、害虫駆除委託費等として支出される。																														
全体計画(※期間限定複数年度のみ)																														
<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>							総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																												
		都道府県支出金																												
		地方債																												
		その他																												
		一般財源																												
	事業費計 (A)	0																												
	人件費	正規職員従事人数																												
延べ業務時間																														
人件費計 (B)		0																												
トータルコスト(A)+(B)		0																												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
① 手段(主な活動)		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 委託業務件数(毎年行うもの)</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 委託業務件数(シロアリ防除、支障木伐採等偶発のもの)</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 委託業務件数(毎年行うもの)	件	イ 委託業務件数(シロアリ防除、支障木伐採等偶発のもの)	件	ウ	
名称	単位										
ア 委託業務件数(毎年行うもの)	件										
イ 委託業務件数(シロアリ防除、支障木伐採等偶発のもの)	件										
ウ											
前年度実績(前年度に行った主な活動)											
消防設備、浄化槽等にかかる管理委託、害虫駆除委託等、火災共済加入。											
今年度計画(今年度に計画している主な活動)											
前年度と同じ。											
(2) 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)									
市営住宅団地。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 通常維持管理委託住宅団地箇所数</td> <td>団地</td> </tr> <tr> <td>キ 偶発委託住宅団地箇所数</td> <td>団地</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	カ 通常維持管理委託住宅団地箇所数	団地	キ 偶発委託住宅団地箇所数	団地	ク	
名称	単位										
カ 通常維持管理委託住宅団地箇所数	団地										
キ 偶発委託住宅団地箇所数	団地										
ク											
(3) 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)									
市営住宅の居住環境を良好に維持する。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 市営住宅等入居世帯数(各年4/1現在)</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	サ 市営住宅等入居世帯数(各年4/1現在)	世帯	シ		ス	
名称	単位										
サ 市営住宅等入居世帯数(各年4/1現在)	世帯										
シ											
ス											
(4) 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)											
良質な市営住宅を提供する。											

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	27年度（目標）	28年度（目標）	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円		1,737		3,000	3,500	3,500
			一般財源	千 円	1,543	2,077	4,022	3,000	3,500	3,500
			事業費計（A）	千 円	1,543	3,814	4,022	6,000	7,000	7,000
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
			延べ業務時間	時 間	80	80	80	80	80	80
			人件費計（B）	千 円	320	320	320	320	320	320
			トータルコスト(A)+(B)	千 円	1,863	4,134	4,342	6,320	7,320	7,320
⑤活動指標	ア	件	23	8	9	30	30	30		
	イ	件	4	3	3	5	5	5		
	ウ									
⑥対象指標	カ	団地	23	9	12	30	30	30		
	キ	団地	4	3	3	5	5	5		
	ク									
⑦成果指標	サ	世帯	418	405	470	800	1200	1200		
	シ									
	ス									

事務事業ID	0652	事務事業名	市営住宅管理事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
火災共済への加入事務は、当初建設時から加入、浄化槽、消防設備等の管理委託については、設備設置後法定化により開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
児童遊園の遊具に対しては、より一層の安全性の確保が求められている。
また、近年は、シロアリ防除、支障木伐採などの偶発的なものも随時発生し、その対応は増えてきている。
さらに震災の影響により、災害公営住宅を約800戸建設する予定である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 良好な住環境を維持するために必要なものである。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市営住宅団地に対するものであり、市が負担すべきものである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 長期空家で火災共済に加入しているものもあるが、必要最低限としている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 既存住宅の適切な管理を実施することにより、安定した住環境が確保される。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 法定のものは、維持管理上廃止等できない。 火災共済加入、遊具点検については任意であるが、万一の場合を考えると廃止等できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 火災共済については、全国市町村会公有物件災害共済と公営住宅火災共済機構によるものの2制度あるが、それぞれ長所・短所があるので使い分けている。 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 浄化槽を公共下水道に接続するのは困難であるし、火災共済の加入、支払事務統合は、現行の会計事務上不可能である。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 数年来同内容での管理委託となっており、低コストでの契約も限界がある。 これ以上の契約額の変更は管理の質の低下を招きかねない。 業務によっては近隣の専門業者がなく、競争原理も働きづらい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員・時間で実施している。 複数年契約やシロアリ駆除における単価契約も困難である。 偶発的業務の増減により、事業量も変動する。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 設備の維持にかかわる部分は、条例で市の負担と決まっている。

事務事業ID	0652	事務事業名	市営住宅管理事業
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 多種多様な業務が含まれている。 法定されているものの廃止等はいできない。 任意の事務も必要不可欠である。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 管理委託費が中心であり、これ以上のコスト削減は難しい。 偶発的業務については予測が不可能である。 よって、今年度同様に事業を継続して実施する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	住宅公園課長	千葉洋一
-------	--------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 法定業務がほとんどで、最小限の管理業務となっている。																					
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり										
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 安定した市営住宅の管理運営を継続する必要がある。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
